

名古屋市子ども医療費助成制度の対象者拡大のお知らせ

名古屋市では、令和4年1月診療分から、子ども医療費助成制度の対象が高校生世代(※)の方の通院分まで拡大となりました。

拡大の対象者は、16歳到達の年度初めから18歳到達の年度末までの間の方(令和3年度の場合、H15.4.2~H18.4.1生の方)で、医療費(保険診療分)の自己負担分を助成します。(入院時の食費負担(標準負担額)や保険診療外の医療費は助成されません。)

10月下旬にお送りした子ども医療証交付申請書が未提出の方については、申請書を返送するか、直接お住いの区の区役所保険年金課保険係(又は支所区民福祉課保険係)の窓口で申請してください。※高校生世代とは、16歳到達の年度初めから18歳到達の年度末までの間の方をさします。

○すでに子ども医療証(入院)・ひとり親家庭等医療証・障害者医療証をお持ちの方は、手続き不要です。

○生活保護を受けている方は対象になりません。

【問合せ】健康福祉局生活福祉部医療福祉課福祉医療係
052-972-2574



令和3年11月13・14日(土・日)開催の第30回日本柔道整復接骨医学会学術大会にて大曾根支部 中村宜之会員が令和2年度日本柔道整復接骨医学会奨励賞の荣誉に輝き、表彰されました。

<受賞者から喜びの声>



このような荣誉ある賞をいただきましたのは、共同研究者の皆様のご指導とご協力があったからに他なりません。私は研修時代から、たくさん先輩方と出会い、知識・技術・研究・柔道整復・人な

りについてたくさんご教授いただきました。

先輩方からいただいた言葉は、「世の中に科学性のある柔道整復を還元すること」そして「自分の後輩にバトンを渡して欲しいこと」でした。

今回、受賞の対象となりましたのは、「限局性圧痛」の変化についてでした。先人の教えがそこには詰まっております、それを頼りに骨折の施術を行ってまいりました。これを、研究を通して科学し、先人の教えが科学性をもった知識、技術となることで、柔道整復師はもとより世の中に貢献できると確信しております。私には先人からの教え、諸先輩方からご教授いただいた様々な知識・技術・やさしさ・厳しさ、それらを伝えていく責務もあると考えております。

柔道整復師に限らず、たくさんの方々に影響を与えられるよう私自身引き続き精進して参ります。

そして医学、柔道整復学に真摯に向き合っていきたいと思っております。

(学術部長 寛 芳幸)



大曾根支部研修会



10月17日(日)15時より、ホテルプラザ勝川において大曾根支部学術・保険研修会が行われた。

コロナ禍による人流抑制で度々延期されていたが、規制緩和されたタイミングで研修会を開催する事ができた。手指の消毒、体温測定、抗原検査等の感染対策等を行い、42人の会員が参加した。

玉置 一博支部監事による開会の辞にて研修会を開始した。

学術発表は2題で、林 道明会員による「掌側板の形態と機能」。同会員が医科に患者紹介した際、損傷箇所に対する知識不足を感じ、より詳細な理解を深めるための研究を発表した。

大口 明良会員による「日整会員の現状に対するアンケート調査」。全国日整会員の、開業に際しての研修手段や期間、EBMに基づいた施術に対しての意識調査、IT活用の現状等の調査結果を考察した。



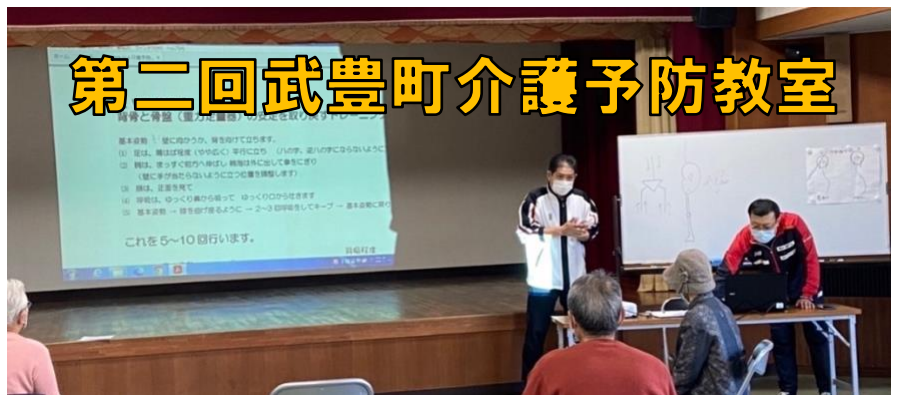
休憩を挟み保険研修会として、森川 伸治会長による保険取扱いの説明と対策、組合保険の対応、柔整師の有資格者数の推移と現状説明があった。

17時、玉置 一博支部監事の閉会の辞で研修会は終了した。

研修会終了後、コロナ対策として参加者全員に弁当を配布し、会食希望者は同ホテル内の会場にて飲食とともに情報交換をした。

(大曾根支部 瀬古 真吾)

第二回武豊町介護予防教室



11月4日(木)知多郡武豊町「大足老人憩の家」にて、第二回武豊町介護予防教室が開催されました。

当初9月に予定されていた介護予防教室でしたが、新型コロナ感染拡大の影響を受け、延期となっていた中、やっと開催できることとなり、町内の65歳以上の方を対象に15名の参加者が集い、武豊町の森正仁会員、桑子 和也会員、鈴木の名で活動してきました。

第一回の「正しい歩き方のお話」に続き、今回は「いまさら聞けないお話～尿漏れ予防」と題し、第一回の復習も兼ねウォーキングを振り返りながら、説明を交えて姿勢(バランス)・呼吸(腹式呼吸)・運動(骨盤底強化)と進め、13時30分から14時45分まで、気候も良い中、軽く汗をにじませつつ無事終了しました。終了後には包括支援センターの職員より、さっそく次回(来年)のお話も相談がありました。

参加者の中には、話を聞く折うなずきつつメモを取る方や、説明を聞きつつ身体を動かされる方と、皆真剣に取り組んでいただき、参加された皆様の健康に対する意識の高さを感じました、次回もたくさんの地域の方と一緒に頑張りたいと思います。

(半田支部 鈴木 満也)